

概況

【2018年12月6日～2018年12月12日】

- 豪ドルは対円、対米ドルともに小幅安となりました。
- 石油輸出国機構(OPEC)総会への警戒感や、米国要請による中国企業幹部の逮捕を受けて米中の攻防激化への懸念が再燃したことなどが、豪ドルの主な売り材料となりました。
- 11日には同幹部の保釈報道が安心感を誘い豪ドルは買い戻される場面もありましたが、11月の米コアCPIが加速し米国での来週の利上げを確信する結果となったことなどから米ドル買いが進み、豪ドルは週間で弱含んで推移しました。

マーケット動向

	2018/12/12	2018/12/5	2018/11/30
豪ドル/円	81.79	82.28	82.98
豪ドル/米ドル	0.722	0.727	0.731
鉄鉱石	66.76	67.58	72.28
豪州政策金利(%)	1.50	1.50	1.50

騰落率

	前週比	前月末比	前年末比
豪ドル/円	-0.59%	-1.43%	-7.09%
豪ドル/米ドル	-0.66%	-1.18%	-7.54%
鉄鉱石	-1.21%	-7.64%	-6.34%

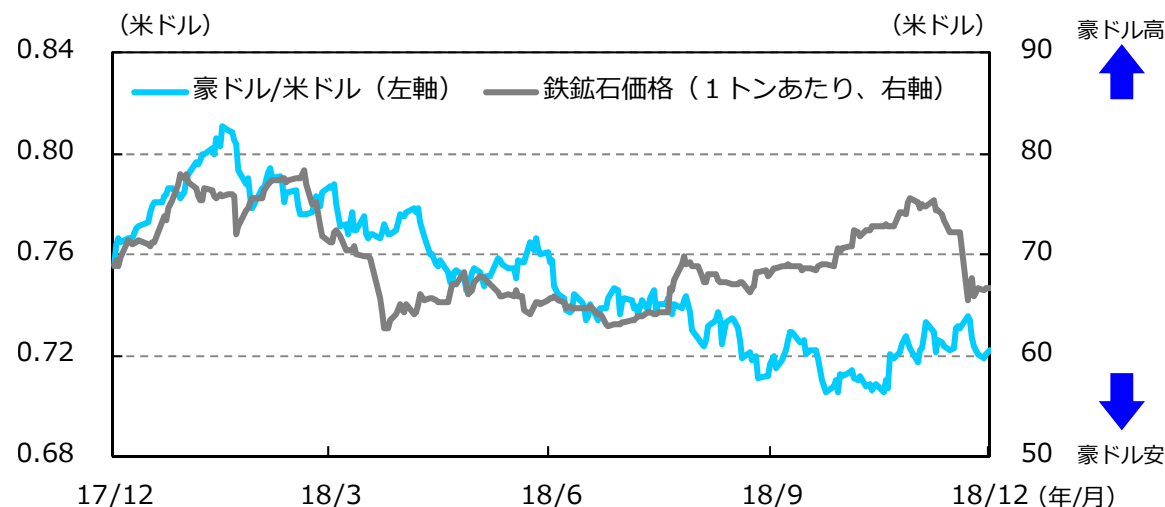
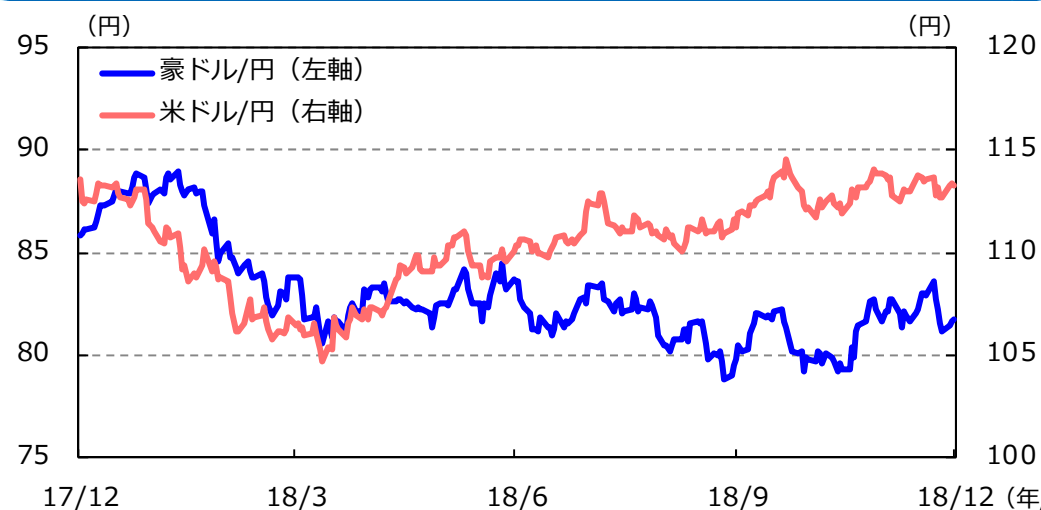
※ 豪ドル/円と米ドル/円の単位は円、豪ドル/米ドルの単位は米ドル。

※ 豪ドル/米ドルの騰落率は豪ドルの対米ドルでの騰落率。

※ 鉄鉱石はシンガポール取引所の鉄鉱石先物価格(米ドル)

※ 前週比は2018年12月5日から2018年12月12日まで、前月末比は2018年11月30日から2018年12月12日まで、前年末比は2017年末から2018年12月12日まで。

為替と鉄鉱石価格



グラフ期間: 2017年12月12日～2018年12月12日

出所: Bloomberg

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiva SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会